

もがみまち こそだ けんしょう
最上町子育ち憲章

子どものちがい

1

まも 守ります!

も 最上の
自然と文化

地元の歴史や文化を学び
「ふるさと最上」を
受け継ぎます

2

だいし 大事に
します!

が 学校の学びと
地域の学び

色んな経験を楽しみながら
未来に向かって進みます

3

ちから も
あ合わせます!

み みんなと
一緒に

いじめや差別をなくし
命を大切にします

4

わす 忘れません!

つ 常に感謝の
気持ち

周りの人に感謝し
思いやりと優しい気持ちで
接します

5

つた 伝えます!

こ 「ことば」で
自分の思いを

笑顔で元気にあいさつし
言葉と行動で伝えます

おとなのちがい
大人の誓い

1

歴史や文化
郷土を愛する心を
伝えます

2

子どもの心に
寄り添い
子どもが希望を
持てる環境を
整えます

3

個性と人権を
尊重し
子どもの命を
守ります

4

共にルールと
マナーの
大切さを学び
思いやりの心を
育みます

5

明るくあいさつを
交わし
笑顔あふれる
地域社会を作ります

令和4年6月9日制定

前文

私たちは、人と人とがつながり、
豊かな自然に恵まれた最上町の町民です。

子どもの笑顔は家族の笑顔、家族の
笑顔は地域の笑顔。地域に笑顔があふ
れるとき、町民みんなに幸せが広が
ります。

子どもたちの笑顔に満ちた明るく
元気なまちを目指し、子どもたちが
未来に向けて夢や希望を持ち、心身と
ともにすこやかに成長していくことが
できるよう、子どもと大人の共通の指針
となる「最上町 子育ち憲章」を制定し
ます。

子どものちがい →

おとなのちがい →

1

まも 守ります!
も 最上の
自然と文化

地元の歴史や文化を学び
「ふるさと最上」を
受け継ぎます

2

だいし 大事に
します!
が 学校の学びと
地域の学び

色んな経験を楽しみながら
未来に向かって進みます

3

ちから も
あ合わせます!
み みんなと
一緒に

いじめや差別をなくし
命を大切にします

4

わす 忘れません!
つ 常に感謝の
気持ち

周りの人に感謝し思いやりと
優しい気持ちで接します

5

つた 伝えます!
こ 「ことば」で
自分の思いを

笑顔で元気にあいさつし
言葉と行動で伝えます

ぼくもわたしも
もがみっこ!

なまえ

中学校でも配って活用しています。



こ えがお かぞく えがお
子どもの笑顔は家族の笑顔

家族の笑顔は地域の笑顔

ちいき えがお
地域に笑顔があふれるとき

ちょうみん
町民みんなに

しあわ　ひろ
幸せが広がります。

れい わ ねん がつ か せい てい
令和 4 年 6 月 9 日 制定

も がみ まち
最 上 町



もがみまちこそだ けんしょう 最上町子育ち憲章

こ おとな
(子どもと大人のやくそく)

わたし ひと ひと ゆた しぜん めぐ もがみまち ちょうみん
私たちは、人と人とがつながり、豊かな自然に恵まれた最上町の町民
です。

こ えがお かぞく えがお かぞく えがお ちいき えがお ちいき えがお
子どもの笑顔は家族の笑顔、家族の笑顔は地域の笑顔、地域に笑顔が
あふれるとき、町民みんなに幸せが広がります。

こ えがお み あか げんき めざ こ
子どもたちの笑顔に満ちた明るく元気なまちを目指し、子どもたちが
みらい お ゆめ きぼう も しんしん せいちょう
未来に向けて夢や希望を持ち、心身ともにすこやかに成長していくこ
とができるよう、子どもと大人の共通の指針となる「最上町子育ち
けんしょう せいいてい
憲章」を制定します。

ぜんぶん こ おも 「前文」に込めた思い

もがみまち みらい にな こ ひとり せいちょう じぶん
最上町の未来を担う子ども一人ひとりがすこやかにのびのびと成長し、自分らしく
あんしん みらい む い ちから み つ わたし おとな ちいき
安心して未来に向かって生きていく力を身に付けられるよう、私たち大人が地域
ぜんたい みまも はぐく たいせつ かんが
全体で見守り育てることが大切と考えます。

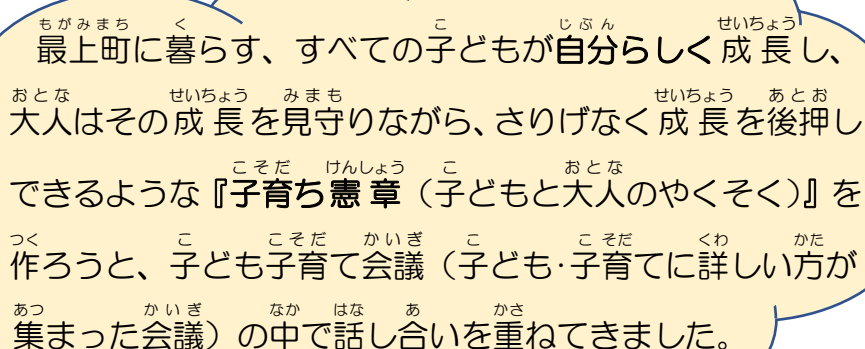
こ ちい みすか せいちょう ちから も おとな
また、子どもはどんなに小さくても、自ら成長しようとする力を持っており、大人
はそなた み せいちょう あとお こ がっこう
はその姿を見つめ、成長を後押ししてあげられるようなかわりと、子どもが学校
だけでは得られない地域での学びも大切に、そのための環境作りを心掛け、大人も子
どもも いっしょ もくひょう けんしょう ねが こ
どもと一緒にステップアップするための目標となるよう、この憲章に願いを込めま
した。



けんしょう

とても大切で重要な取り決めのことで、社会をよくするために

もがみまちこそだ



こ　こそだ　かいぎ　なか　あん　つく
子ども子育て会議の中で「やくそく」の案を作り、

もがみちゅうがっこう せいと きょうりょく
最上中学校の生徒のみなさんからアンケートにご協力

ただき、^{けんしょう}憲章がねらいに^あ合っているか、^こ子どもたちに

じどう せいとだいひょう みな いけんこうかikai おこな こ
児童・生徒代表の皆さんと意見交換会を行い、子ども

いけん と い けんしょう
 ちの意見を取り入れながら「憲意（けんい）」を

この「やくそく」が、^{もがみまち}最上町に^す住む^{ひと}すべての人たち

の心こころに刻きざまれるように、日々ひびくの暮ならしの中とに取り入れいれ、

とく たいせつ もがみまち こそだ こそだ
られる取り組みを大切に、最上町の子育て・子育てに

たい おも つな おも
対する思いを繋いでいきたいと思います。



①が②み③っ④こで覚えてね！



かい せつ 解 説

「子どものちかい」では、小さい子から18歳（成人前）までの子どもたちが覚えやすい「ちかい」になるように、「①が②み③っ④こ」から始まるメッセージを5つの項目に、「大人の誓い」では、子どものちかいに沿って、大人が努力すべきことを5つの項目にしています。それぞれの項目について、行動目標やメッセージの意味などを解説させていただきます。

また、小・中学生との意見交換会の中で出された意見も取り入れ、子どもと大人が同じ方向を目指し、将来にわたって「最上町子育て憲章」を心に刻んでいただくとともに、一人ひとりが自分で出来ることを実践していただくことを願いながら、憲章への理解を深めていただきたいと思います。

こ
子どものちかい

おとな ちか
大人の誓い

1. 守ります！ ① 最上の自然と文化

じもと れきし ぶんか まな もがみ う つ
地元の歴史や文化を学び、「ふるさと最上」を受け継ぎます

／ れきし ぶんか きょうど あい こころ つた
歴史や文化、郷土を愛する心を伝えます

最上町の自然を思い浮かべるとき、山の緑と季節の移り変わりで変化する木々の彩り、降雪は多くても、雪解け水が流れ込む小国川が育む鮎やイワナの味とアスパラガスや山菜の美味しさなど、一言では言い表せないほどの豊かさがあります。

また、最上の文化として地域ごとに受け継がれてきた祭りや太鼓、田植え踊りや御柴灯だけでなく、近年の新たな取り組みとして、最上産の木材を使用した楽器作りや灯々祭など、後世に繋げたい新しい文化も生まれてきています。

「温故知新」の言葉のとおり、古き良き伝統と新しい伝統を生み出す力、さらには、環境にも配慮したゼロカーボンを意識した「ふるさと最上」を子どもたちにも引き継いでいけるよう、多世代間の交流を大切にしていきます。



2. 大事にします！ がっこう まな学校の学びとちいき まな地域の学び

いろいろな経験をしながら未来に向かって進みます

こ ころ よ そ こ きぼう も かんきょう ととの
／ 子どもの心に寄り添い、子どもが希望を持てる環境を整えます

こ まな は どうにゅう ちが かたち がくしゅう はじ
子どもたちの学びの場にICTが導入され、これまでとは違った形で学習が始まろう
ととしています。 きょうしつ ぐわい も だ げんち で む き
教室だけでなく戸外にも持ち出せるICTで、現地に出向いて気になったこ
とを調べたり、 しら おも おも かたち きづ ひょうげん
思い思いの形で気づきを表現できるようになるでしょう。

おとな こ じゅう あんしん たの まな つづ むげんだい かのうせい ひ だ
大人は、子どもたちが自由に安心して、楽しく学び続け、無限大の可能性を引き出せる
ちいき あんぜんかくほ かんきょうせいび つと ちいき ぶんか でんとう げいじゆつ しょくぶんか
よう、地域の安全確保と環境整備に努めます。また、地域の文化・伝統・芸術・食文化な
はばひろ まな たいせつ おも う つ こ つた
ど幅広い学びを大切にしたいという思いが受け継がれるよう、子どもたちに伝えていき
ます。



ちから あ いっしょ
3. 力を合わせます！ み みんなと一緒に

いじめや差別をなくし、^{さべつ}命^{いのち}を大切にします^{たいせつ}

こ せ い じ ん け ん そ ん ち ェ う こ い の ち ま も
／ 個性と人権を尊重し、子どもの命を守ります

自分の命、他人の命はもちろん、生き物・植物すべての命をむやみに傷つけることは、決してしてはいけません。子どもがすべての命を大切にし、勇気を持っていじめや差別をなくそうとする気持ちで生活できるように、周りの大人は子どもの命を大切にし、守り育てます。



4. 忘れません！ つ 常に感謝の気持ち

まわ ひと かんしゃ おも やさ き も せつ
周りの人に感謝し、思いやりと優しい気持ちで接します

とも たいせつ まな おも こころ はぐく
／ 共にルールとマナーの大切さを学び、思いやりの心を育みます

じぶん まわ ひと まいにちくち た もの つく だ せいさんしゃ
自分がかかわる周りの人だけでなく、毎日口にする食べ物やそれを作り出す生産者への感謝の気持ちも忘れずに、いつも「ありがとう」の気持ちを持って生活します。

こ よ わる まわ おとな すた こうどう み がくしゅう
子どもは良いことも悪いことも、周りの大人の姿や行動を見て学習しています。

こ おや おとな かがみ おとな こうどう げんどう てほん せいちょう
「子は親（大人）の鏡」というように、大人の行動や言動を手本に成長していることを忘れずに、時には子どもと一緒に社会のルールとマナーについて考える時間を設けたり、大人自身が生き生きと生活する姿を見せながら、相手を思いやる心の成長を育みます。



5. 伝えます！ こ 「ことば」で自分の思いを

えがお げんき ことば こうどう つた
笑顔で元気にあいさつし、言葉と行動で伝えます

あか か えがお ちいししゃかい つく
／ 明るくあいさつを交わし、笑顔あふれる地域社会を作ります

「ことば」には、声に出して思いを伝える言葉もあれば、指文字を使う手話もあり、小さい子どもたちでも身振り手振りで心の声を届けています。言葉にならない「ことば」でも目を見て通じ合うこともあれば、気持ちがこもっていない言葉はいくら耳を傾けても、心に届かないこともあります。

子どもも大人も、一人ひとりがそれぞれの方法で自分の思いを伝え、気持ちを通わせ合うことが出来れば、自然に笑顔があふれ、みんなが安心して過ごせる最上町になると信じます。



発行：最上町 ／ 編集：最上町教育委員会子ども支援課

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町 644 番地 TEL0233-43-2247

